「第 500 回情報化研究会開催記念集会」(概要)

情報化研究会は 2013 年以前は IEEE/SSITJ[技術の社会との関わり合いソサイティ(日本チャプター)]との提携で交互開催とし毎月開催していましたがそれ以降は IEEE/SSITJ の開催がなくなり年 6 回の開催となっています。従って 500 回数えるには 36 年以上前からの活動が続いたことになります。

情報化研究会発足当時は情報部門がなく情報化に関する議論をする場として多くの部門の技術士が参加していて近年の環境と違っていたようです。

コロナ禍でオンライン開催をするようになりましたが、オンライン開催の利点、即ち、会議室使用料が不要になる、会場への往復時間がかからなくなることと全国から参加できるようになったこと等が大きく、高齢会員が多いこともあり、オンライン開催が続く見込みです。

今回の話題提供として「地球温暖化対策への日本の取り組みが遅れているのではないかと思いますが皆さんはどのように受け取っておられか伺いたく思っています。」

昨年夏はこれまでない暑い日が続き筆者の居住する八王子市では最高 39 度になりました。朝 9 時頃からクーラを稼働させ日中は外出を控える生活になり、人間が住む環境でなくなったような感じがしたのです。炭酸ガス排出が COP28 の目標に達してなく手遅れになっているように思われるのです。日本政府は、令和 3 年 10 月に「地球温暖化対策計画」を閣議決定しているのですが、その具体的実施計画が見えないのです。

「地球温暖化対策計画」には、「目標達成のための対策・施策」として『「国民」の基本的役割』について「国民自らの積極的な温室効果ガスの排出の量の削減」と「地球温暖化防止活動への参加等」を示し、「家庭部門の取組」に対して「脱炭素型ライフスタイルへの転換」、「住宅の省エネルギー化」、「省エネルギー性能の高い設備・機器の導入促進」、「徹底的なエネルギー管理の実施」、「電気・熱・移動のセクターカップリングの促進」、「その他の対策・施策」を示しています。

実施内容が国民に理解されたり実施されることになっているようには思われないのですが如何でしょうか。これで温暖化対策が進むでしょうか。

他の話題提供も募集します。お知らせ下さい。